

2022年
7月



ちばさぽ通信

Vol.50

出会う・つながる 地域がにぎわう

【シニアリーダー体操】



【くさ野あかり祭～夜灯よとぼし～】



表紙の団体紹介

認定特定非営利活動法人まちづくりスポット稲毛
稲毛区長沼原町において交流スペースを運営、地域の方々の活動を
応援しているほか、イベントの企画・開催により、地域の人と人との
つながりづくりをする活動などを行っている団体です。



【壁画ワークショップ】



【土曜日学校】

CONTENTS

● 事業&活動報告

- フェスタ・お知恵拝借ミーティング開催報告

● 千葉市まちづくり応援寄附金

● ちばさぽの風Vol.50

● 登録団体活動紹介コーナー

● CatchUp フェアトレードカフェ&ショップ

● ちばさぽからのお知らせ

- 市民活動ステップアップ講座
- ちばさぽ交流サロン
- 専門家による個別相談リニューアル

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時

日曜・祝日
午前9時～午後6時

〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



事業&活動報告

「フェスタ・お知恵拝借ミーティング」開催報告

千葉市民活動フェスタは、コロナ禍で2年連続オンライン中心の開催となりましたが、事業のあり方を問い直す良い機会だったとも言えます。今年は実行委員会の前に、自由に思いつきや意見を述べる「ブレインストーミング」のような場を設けることになり、6月2日は対面、9日はオンラインで「お知恵拝借ミーティング」が実施されました。その日の意見の一部をご紹介します。



※人員、会場、費用などの制約は一切なく自由に出されたアイデアですので、実施計画に反映するとは限りません。

【会場】

・複数箇所での開催も考えてはどうか(駅の周辺、そごうの

通路、公民館や他施設との連携など)

・パブリックビューイングのようなことはできないか

【会期関連】

・オンラインなら長期間開催、別会場、分散開催も可能

・日替わりの参加とすれば、2倍の団体が参加できる

・11月だけでなく1年の活動の集大成という捉え方で準備を

【内容など】

・参加団体が一緒に参加して楽しめる「何か」があるとよい

・キャラクターは人気だが、輸送や人員の負担は考慮が必要

・クイズラリーなどにスマホ等をうまく活用して工夫を

【その他】

・ハイブリッドは、参加者を増やす決め手となるのでは

・参加しない団体からもスタッフの参加は可能

・広報をもっと前から多面的に行いたい

・今年だけではなく何年か先まで見据えた長期計画を

千葉市まちづくり応援寄附金(愛称:まち寄附)

まち寄附とは、寄附者が対象団体の中から応援したい団体を指定して寄附ができる制度です。ふるさと納税を経由して団体へ寄附することで、寄附者は税控除を受けることができ、団体は寄附を集めやすくなるのが期待されます。



「市内でまちづくり活動を行う団体である」などの一定の要件を満たしていれば登録の対象となりますので、ぜひ登録をご検討ください。

また、登録するメリットや登録方法などについて説明会を実施しますので、興味がある方はご参加ください。

～登録団体募集中!説明会を実施します!～

日時▶第1回2022年8月3日(水) 14:00~15:00

第2回2022年8月7日(日) 14:00~15:00

会場▶千葉市民活動支援センター会議室及びオンライン

定員▶対面参加は20名程度(申込み先着順)

お申込み方法▶千葉市ホームページ

(右のQR)からお申込み

ください。

※お申込み前に、登録の要件については千葉市ホームページにてご確認ください。



千葉市役所市民自治推進課 担当:有水・峯岸

TEL:043-245-5664 Mail:jichi.CIC@city.chiba.lg.jp

ミニコラム

ちばさぽの風 vol.50

声と表情とコミュニケーション

突然ですが、最近、疲れがとれにくくなっているように感じます。睡眠時間は十分とっているのに、年齢的に仕方ないことなのでしょう。ただ、来館者の皆さんに疲れている様子を見せてしまえば、公共施設の職員としては失格なので、勤務中はてきぱき動くようにするなど、ふるまいに気を付けています。

そんな中、夜間のシフト勤務時に電話対応をした際に、相手の方(よく存じている登録団体の方)から「いつもいい声してますね!」と言われたのは、かなりうれしかったです。その時は実際、体力的にかなり疲れていたのですが、一気に疲れが吹き飛びました。

声もそうですが、表情にも注意が必要だと感じた出来事もありました。お誘いがあり、オンラインでの交流イベントにプライベートで参加した時のこと。終了後に誘ってくれた人からメールが届き、「無駄な時間を使わせてしまってごめん。退屈そうな表情をしていたよね...」といったことが書かれていました。決して退屈とは感じていなかったのですが、何かしらの感情が出てしまったのかもしれませんが、もちろん、表情は無理につくるものではないと思いますが、特に対面の、一対一のコミュニケーションの場面では、表情は相手にダイレクトに伝わるので、不快な思いをさせないような配慮は欠かせないなと思いました。

さて、声や表情は大切だということ以上に、声を発することや、表情を出すことが難しい人達もいるということをお忘れはならないでしょう。偉そうな書き方をしましたが、これらはセンターでの仕事を通じて、また市民活動を通じて教えられたことです。例えば、失語症や吃音などの障害・症状により、声を出すこと自体が困難な方や、話し言葉がなめらかでない方もいます。筋ジストロフィーなどの障害により、表情が出せないという方もいます。このように、「見た目にはわかりづらい障害をお持ちの方もいる」ということを知ってから、自分は少しでも「聴く力」がアップしたような気がしています。(そう思うことにしています。)

一方で、「伝える力」はなかなか向上しません(汗)。いくら明るい声で、豊かな表情で語っても、内容が伴っていないと反応は返ってきませんよね。ということ、特に講座の講師を担当した後、毎回のよう感じて自己嫌悪に陥っています…。コミュニケーションは「究めよう」とか「達人になろう」とか思わず、自分らしさを出すのが健全かもしれませんね。(は)



登録団体活動紹介コーナー

気軽に集える場所づくりちば

活動エリア▶千葉県
所在地▶千葉市中央区
連絡先▶043-242-4278 keimatsu5@nifty.com
担当者氏名▶松田 啓一

千葉市まちづくり未来研究所の場所づくりチームとして発足し、今年から名前を変えて活動しています。みんなが気軽に集える場所を増やして、多くの人に参加できるまちづくりを進めるため、日本や世界の先進事例も調査研究して地域の発展や市政に貢献したいと思っています。毎月千葉市民活動支援センターに集まり、他団体の有志とも交流して活動しています。



まな・カフェ

活動エリア▶千葉市、及び関東近県(出張講座承ります)
所在地▶千葉市中央区弁天
連絡先▶090-4669-8555 cafe.de.chie.0823@gmail.com
担当者氏名▶飛澤 智恵 (ひざわちえ)

「まな」は、まなぶ・マナー・愛(まな)、「カフェ」は「憩う&集う」で、これから社会へ羽ばたこうとされる方を対象に、面接マナーやコミュニケーション講座を開催し、一緒に体験しながら、体得、学び合う会です。

「ちばさぼ」を拠点に活動、出張講座も、もちろん承ります。就業したい留学生や、第二の人生に向かうシニアの方にも好評をいただいております。



美浜ねこの会

活動エリア▶千葉市
所在地▶千葉市美浜区
連絡先▶080-9050-2211 mihamanekonokai@gmail.com
担当者氏名▶佐々木 由紀子

美浜ねこの会では元気な60歳以上の方のボランティアを募集しています。主に猫のお世話や預かりボランティアをしてくださる方です。

譲渡会にて、60歳以上の方は中々猫をお迎えしたいけど年齢的に無理と言われ、それでも猫ちゃんをもう一度抱きしめたいと思ってお越し下さる方が多数いらっしゃいます。そこで預かりボランティアは如何かと考えました。ぜひ、お手伝いくださる方、ご連絡をお待ちしています。



千葉芸能クラブ

活動エリア▶千葉市
所在地▶千葉市緑区
連絡先▶043-294-2911 mac555new@ybb.ne.jp
担当者氏名▶町田 雅和

千葉芸能クラブでは、主にマジックを公民館や小学校のアフタースクールに出前しています。そのために毎月1回「ちばさぼ」の会議室で簡単マジック教室を実施しています。割り箸や紙コップなど、身近な材料で「作って楽しむマジック」をあなたも体験してみませんか？

※簡単マジック教室は
第4金曜日13時30分からです。
他に小断遊々サロンも開催中です。



CatchUp フェアトレードカフェ&ショップでお待ちしています

緑区の土気あすみが丘プラザの1階ロビーに、千葉市初の本格的フェアトレードカフェ&ショップがオープンしています。運営しているのは、(株)京葉美装・(株)スワット・(特非)はぁもにい・(特非)まちづくり千葉の4つの企業及び団体による千葉市コミュニティセンターまちづくり共同事業体。この団体が、土気あすみが丘プラザの指定管理者として、カフェ&ショップを自主運営しています。フェアトレードタウンを目指す千葉市の中でも先進的な取組みといえるでしょう。

ここでは、1杯ずつ丁寧に手淹れしたコーヒーを召し上げられるだけでなく、①働く人を泣かせない企業や農場から輸入する「グローバル・フェアトレード」の商品をお求めいただけます。また②地元から毎朝届く、つまり輸送・保管のコストがかからないので環境にやさしくて新鮮な、「ローカルフェアトレード」の野菜や加工品を紹介。そして③障害のある人も働き甲斐のある「チャレンジド・フェアトレード」の現場を知るなど、3つのフェアトレー

ドを身近に体験できます。はぁもにい特製の生ハチミツと国産レモンを使った「ぜいたくレモネード」はこの夏ヒットの予感。100円から買える新鮮な「もったいない野菜」

は、大地の味がすると評判です。気軽に参加できるワークショップも展開。「おいしい社会貢献」を、土気あすみが丘プラザで体験しにいらっやいせんか。



フェアトレードカフェ&ショップ
千葉市緑区あすみが丘7-2-4
土気あすみが丘プラザ1階



ちばさぼからのお知らせ

■市民活動ステップアップ講座のご案内

「知っておきたいNPO法人の権利・義務
～法人格について学ぼう～」

NPO法人格を取得すると得られる権利がある一方、運営の義務も生じます。設立の際にお金はかかりませんが、解散の際には費用が発生します。本講座では、こうした権利や義務に着目し、“知っておくべきこと”を講師に解説していただきます。また、最近増加している一般社団法人の特徴についても、NPO法人と比較しながら学びます。これから法人格を取得しようと考えている団体の方の他、既にNPO法人を設立しているという方にもおすすめです。



日時▶2022年8月25日(木) 18:30～20:30
会場▶千葉市民活動支援センター会議室
講師▶日野達弥さん(行政書士)
定員▶15名程度(お申込み先着順) **参加費**▶無料

■第1回ちばさぼ交流サロン開催

「みんな集まれ！新体制の交流サロン」と題して対面で開催。話題提供者は、ちばさぼの原田コーディネーターです。どなたでも参加できますので、ご自身の意見や考えを発信したい方、市民活動や地域活動、ボランティアに興味のある方は是非ご参加下さい。

日時▶2022年7月9日(土)
10:00～12:00
会場▶千葉市民活動支援センター会議室
定員▶14名程度
(お申込み先着順)



参加費▶無料

○お申込み方法(すべての講座・事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①講座名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)
- ④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

■「専門家による個別相談」リニューアル

市民公益活動に関する様々な分野の専門家と、50分間じっくり話ができる「専門家による個別相談」が7月から新たに2人の相談員が増え7人体制になりました。相談員と日程は次の通り(敬称略)です。

| 相談員担当日程 | | |
|---------|------|------|
| | 火曜日 | 土曜日 |
| 第1 | 原田正隆 | 加藤達郎 |
| 第2 | 蒲島竜也 | 齋田清孝 |
| 第3 | 加藤達郎 | 榎本教俊 |
| 第4 | 日野達弥 | 原田正隆 |
| 第5 | 榎浦敏彰 | 榎浦敏彰 |

加藤達郎(税理士)
日野達弥(行政書士)
原田正隆(NPO運営市民活動
入門相談担当・千葉市民活動
支援センターコーディネーター)
榎本教俊(インターネット活用
相談担当・フォーリーフクローバー(株) 代表取締役)
齋田清孝(広報PR相談担当・一般社団法人かずさーズ代表理事)
蒲島竜也(特定社会保険労務士・CFP資金調達コンサルタント)
榎浦敏彰(コミュニティ相談担当・千葉市民活動支援センター事務局長)

時間▶各日、18:00～18:50、19:00～19:50の2回
場所▶千葉市民活動支援センター
定員▶1日2団体まで ※各日、1団体50分
参加費▶無料・要予約
対象▶市民公益活動・地域活動・ボランティア活動をしている(これから始める)団体・個人

お申込み▶相談員名、希望の日時、お名前、ご住所(市区町村名まで)を相談日7日前の17時までにちばさぼへ

ちばさぼ相談員の紹介(その1)

蒲島竜也(かばしまたつや)

特定社会保険労務士 CFP 資金調達コンサルタント
社会保険労務士法人 LMC 社労士事務所代表



【経歴】

1964年岐阜県各務原市生まれ、中央大学商学部卒業後、大和銀行(現りそな銀行)にて証券会社出向や融資・企業年金・信託等さまざまな業務を17年間経験後、LMC社労士事務所を開設、助成金カリスマコンサルタントとして商工会議所、商工会、独立行政法人等で100回を超える補助金助成金セミナーをこなすスペシャリスト。週刊ポストへの掲載やベイエフエムにもコメンテーターとして生出演などマスコミにも多数取り上げられている。

【著書】

これだけは知っておきたい会社経営のための6つの知恵(実業之日本社)
お金のことはおれに聞け(カナリア書房)



SDGsは日常のすべてが入口

「何となく知っているけど説明しにくい」のがSDGs。「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で最後のsはゴールの複数形のsです。実は毎日の生活のすべては、どこかでSDGsに繋がっています。①貧困 ②飢餓 ③健康と福祉 ④教育

⑤ジェンダー ⑥安全な水・トイレ…などなど17の目標は、難しい国際問題ではありません。買物をちょっと見直すだけで、どこかの子供が学校に行ける可能性があがる、そんな風に考えるとSDGsは意外に身近。「ちょっと考える」を、地球と人を守る入口にしませんか。



編集後記

■「見かけによらずよく食べる」と言われるのですが、最近、食欲が落ち着いてきました。ランチのご飯も普通盛りになっています(は) ■今年も暑くなりそうです。センター使用後の寒暖差に留意しましょう(ふ) ■6月末に何十年ぶりかの一人旅。一人で飛行機乗れるのか?ドキドキなのですが、、7月に何食わぬ顔でセンターにいたら無事に戻ってきたということで(笑)(な) ■「七夕月」「愛逢月(めであいづき)」孟蘭盆会 から「親月(しんげつ・おやづき)」呼び名もあつい7月に期待●(ひ) ■今年の館内空調は快調です。この夏は、ちばさぼで快適な活動を(よ) ■家族とのことをいろいろ考えさせられる機会がありました。家族は疎遠にならぬようありたいものです(り) ■今年の妙見大祭、千葉神社での宮出し宮入りの時だけ30分間神輿を担げるみたい(か) ■雷雨に驚く猫をなだめながら、日本は亜熱帯になったのかなあの思いが日々強くなっています。皆さまご自愛ください(や)